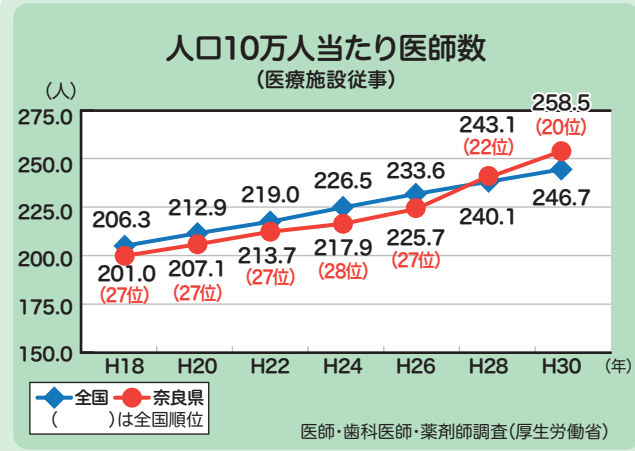
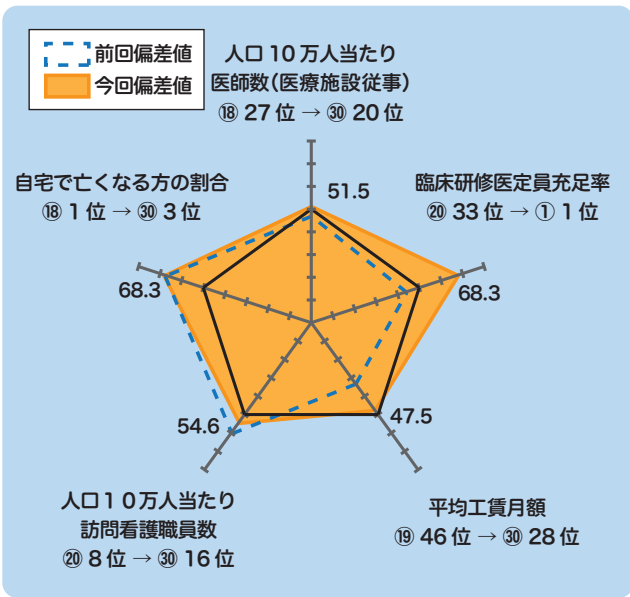




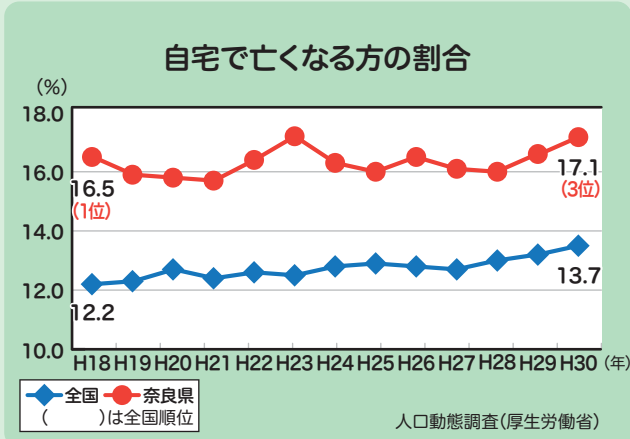
16. 地域医療の総合マネジメント・地域包括ケアの充実



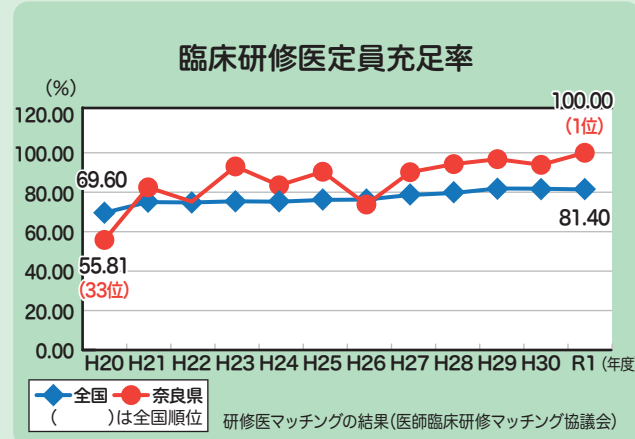
17. 福祉の充実



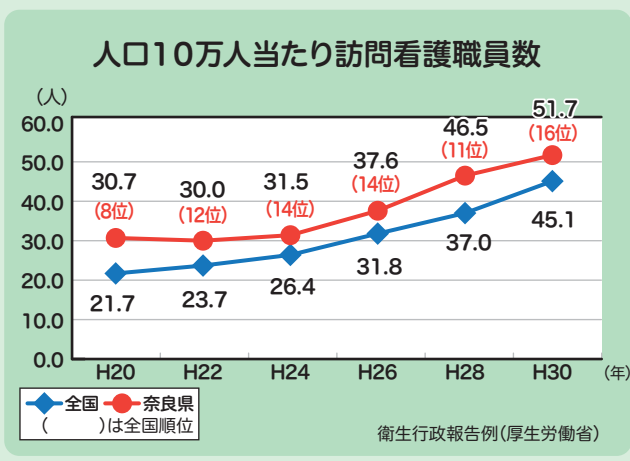
これまで全国平均を下回る水準で推移していましたが、県の総合的な医師確保対策や県立医科大学の中期目標達成に向けた取組により、平成30年は全国平均を上回りました。



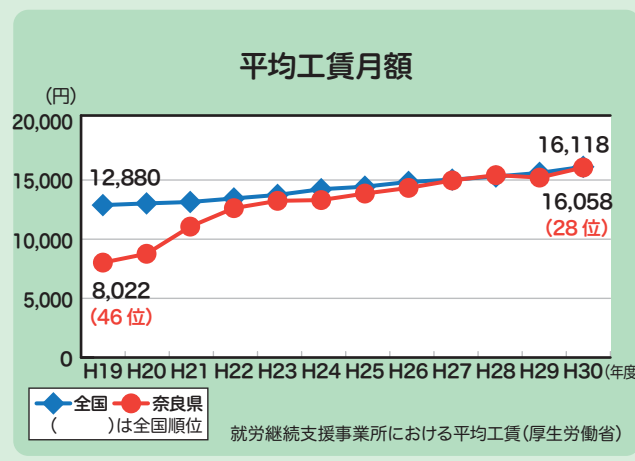
自宅で亡くなる方の割合は、平成18年と比べて0.6ポイント上昇しており、全国平均と比較すると高い水準で推移しています。



臨床研修医定員充足率は、臨床研修を実施する10病院と県が連携して臨床研修医の確保に取り組んだことにより、令和元年度は全国1位の100%となりました。



人口10万人当たりの訪問看護職員数は増加を続けており、全国平均を上回った状態で推移しています。



就労継続支援B型事業所の平均工賃月額は、これまで全国平均を下回っていましたが、近年は上昇傾向にあり、全国平均に追いつきつつあります。



(89) 国保の県営化の円滑な推進

これまでは

国民健康保険(国保)の制度は、平成30年4月から「各市町村ごとの運営」から「県域での運営」に変わりました。
「同じ所得・世帯構成であれば、県内のどこに住んでも保険料が同じ」になることを目指しています。

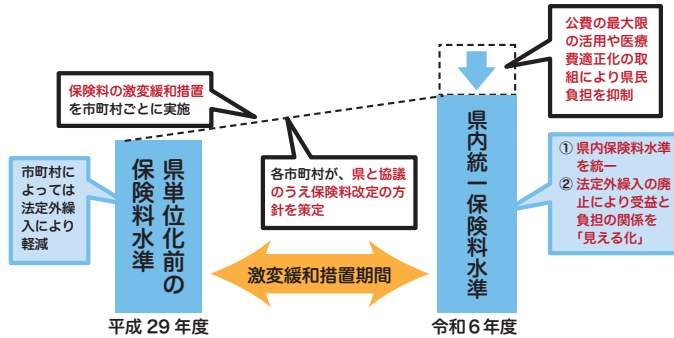
もっと良くするために

「国保運営の安定化と加入者負担の公平化」、「医療費の適正化」、「医療提供体制の整備」を三位一体で推進します。

目指す姿

令和6年度の県内保険料水準統一化を目指します。

市町村によって差があった国保の保険料負担の公平化を図るため、令和6年度には県内保険料水準を統一するんだね。



そのとおり。県内保険料水準の統一には、市町村間の保険料格差をなくすとともに、医療費適正化の取組による医療費の県民負担抑制や、地域医療構想に基づく医療提供水準の均てん化を、県を挙げて取り組むことが大事なんだよ。



主な取組

取組	令和2年度	令和3年度	令和4年度
市町村との協議により策定した保険料方針の着実な実行	令和6年度の国保保険料水準の統一を目指し計画的・段階的に保険料改定を行うために市町村ごとに県と協議の上策定した保険料方針について、各市町村が着実に実行		
医療費適正化計画の推進	医療費適正化計画において定めた国保保険料水準と整合した医療費目標の達成に向け、医療費適正化の取組を推進		
医療ニーズに対応した医療提供体制の整備	地域医療構想に基づく病院機能の分化・連携、医療提供体制の均てん化等の取組を推進		



(90) 地域医療構想の推進

(92) 医師確保計画、外来医療計画の策定

これまでは

- 救急や高度医療に責任を持って対応する「断らない病院」の充実を図ってきました。
- 救急や高度医療に責任を持って対応する「断らない病院」と地域包括ケアシステムを支える「面倒見のいい病院」の両方の機能向上を目指し、医師の適正配置、医療機能の分化・連携について関係者と粘り強い協議を進めています。

奈良に必要なのは
「断らない病院」と「面倒見のいい病院」



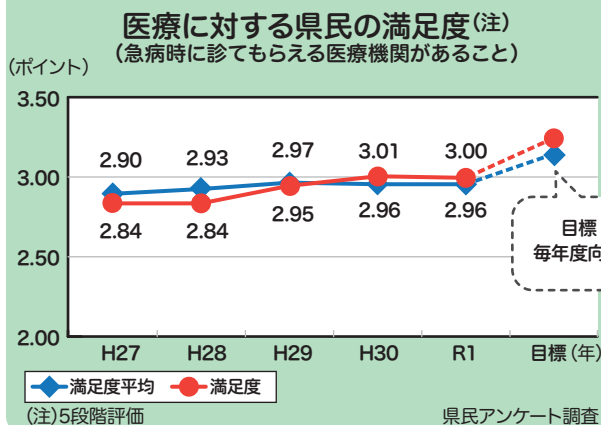
もっと良くするために

「エビデンスとナッジ」の手法で「断らない病院」と「面倒見のいい病院」の「機能分化・連携」「働き方改革」「医師の偏在対策」を一体で進めます。

目指す姿

全国のモデルとなる**地域医療構想**を実現します。

少子・高齢化が進んでも、安心して必要な医療を受けられることができるのかな？



医療機関の適切な役割分担と医療従事者の働き方改革を進めることで、持続可能で効率的な医療提供体制を目指していきます。



主な取組

取組	令和2年度	令和3年度	令和4年度
「断らない病院」「面倒見のいい病院」の機能強化・連携推進	医療機関の機能分化と連携の推進、 病院の診療機能・医療データの見える化の推進		
医療従事者の働き方改革の推進	医療従事者の勤務環境等の実態把握、 勤務環境支援改善センターによる助言・相談		
医師の偏在対策	医師確保修学資金の貸与、総合診療医の育成支援 へき地勤務医師の確保、医師少数区域等で勤務する医師に対する支援		



(91) 医療費適正化

これまでは

- ・ 第3期医療費適正化計画で医療費推計を「目標」として設定
- ・ 医療費を地域差(市町村差)、疾病別、前年度との増減比較の3つのアプローチにより分析

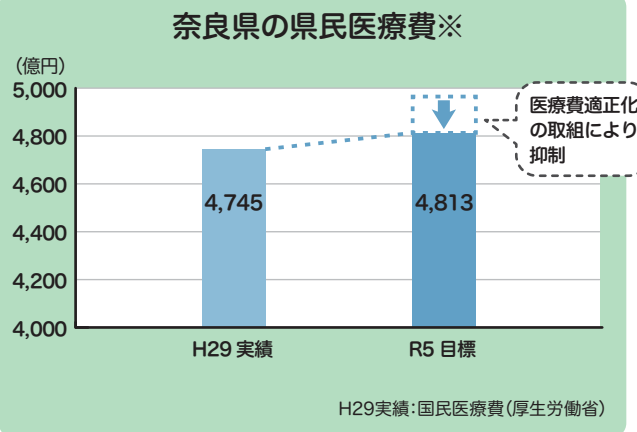
もっと良くするために

医療費適正化のため医療費分析をさらに進めます。

目指す姿

令和5年度の奈良県の県民医療費を4,813億円以下にします。

県民の医療費負担を抑え、誰もが安心して医療が受けられる国民皆保険制度を維持するためには、医療費目標の達成を目指して、「医療費適正化」に取り組まないといけないよね。



※は数値が低い方が良くなる指標です。

そうですね。「医療費適正化」の取組は、医療費の地域差や疾病別、前年度からの増減の要因を分析して、その結果に基づいて効果的に取り組むことが大事なんです。



主な取組

取組	令和2年度	令和3年度	令和4年度
医療費分析	地域の実態に即した効率的な医療費適正化の取組の立案のため、市町村ごとの医療費の差や疾病別の差、前年度からの医療費の増減の要因を分析		
医療費適正化の取組の推進	後発医薬品の使用促進や糖尿病重症化予防、特定健康診査の実施率の向上等の具体的取組を推進		



(93) 地域包括ケア・在宅医療の充実、南和における地域包括ケアの実験

これまでは

- ・住み慣れた地域で人生の最後まで暮らせる地域包括ケアシステムの構築に努めてきました。
- ・南和地域で「奈良県版生活支援スマホの実証実験(H28~H30)」を行ってきました。

もっと良くするために

- ・南和地域におけるAIを活用した高齢者支援システムの構築を進めます。
(高齢者が使い慣れた「電話」+「AI(人工知能)」を活用)
- ・奈良県版多機能職種制度(奈良県版ラヒホイタヤ)構築の検討を進めます。
- ・地域包括ケアシステムの構築を進めます。

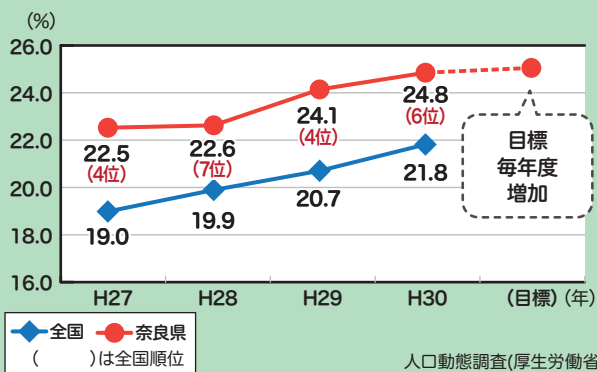
目指す姿

在宅(自宅・老人ホーム)で亡くなる人の割合を毎年度増加させます。

平成29年の調査によると、要介護と認定された人のうち、約60%が「自宅で最後を迎えたい」と希望しているけど、約71%の人が病院で亡くなっているよ。



在宅(自宅・老人ホーム)で亡くなる人の割合



希望を叶えるためには、在宅医療と介護の連携を強化して、看取りの体制を充実させる必要がありますね。



主な取組

取組	令和2年度	令和3年度	令和4年度
南和における在宅医療・介護連携を促進	訪問看護の充実・強化、在宅医療の支援強化、AIを活用した高齢者支援を推進		
地域ごとの退院調整ルールの策定と広域調整の推進	全地域での退院調整ルールの策定、地域を越えた調整の推進		
「奈良県高齢者福祉計画及び第8期介護保険事業支援計画」の策定	検討・策定	令和3年3月策定	計画に基づいた県民・市町村・関係機関と連携・協働した施策の推進



(94) 県立医大の移転、医大病院施設・外来棟の整備

これまでは

県立医科大学教育・研究部門を近隣の旧農業研究開発センターへ移転新設を進めています。

【整備コンセプト】

藤原京をモチーフとして、奈良への愛着を醸成し、奈良県立医科大学ならではの医学教育を実践する場にふさわしい姿を具体化
現在老朽化が著しい教養教育部門及び看護学科の施設を先行して整備



整備イメージ(平成31年3月時点)

もっと良くするために

- ・新キャンパスの先行分移転(医療看護の教育部門と体育館)は **令和6年度完成予定**です。
- ・新外来棟等附属病院の整備の検討を進めます。
※病院の配置計画は新駅の位置によって決まり、
新駅設置のための近鉄側の条件は 八木西口駅移設。
同駅存廃の方針決定が令和2年度中に行えるよう協議・調整を加速。



新外来棟等附属病院のイメージ図
(南側に新外来棟が設置された場合)

目指す姿

令和6年度中に新キャンパス先行整備を竣工します。

施設の具体的な配置計画や施設内の必要な機能等の検討結果が、平成31年3月に「新キャンパス整備基本計画書」として取りまとめられたよ!



新キャンパス敷地

基本計画書に基づいて、文化財発掘調査や各種設計・工事を進めているんですね。令和6年度の竣工が楽しみです!



主な取組

取組	令和2年度	令和3年度	令和4年度
新キャンパス先行整備 (各種調査)	文化財発掘調査		
新キャンパス先行整備 (開発造成)	造成設計、開発協議・申請、造成工事		
新キャンパス先行整備 (建築)	建築基本・実施設計、各種申請、建築工事		
新キャンパス継続整備及び 現キャンパス機能充実の検討	新キャンパス継続整備、新外来棟等附属病院の整備の検討		



(95) 西和医療センターの移転・再整備の検討

これまでは

西和医療センターは、西和地域における中核病院として、循環器疾患や小児科をはじめとする二次救急の受け入れにおいて重要な役割を果たしています。

一方で、建設から約40年経過し、施設の老朽化が進んでおり、高齢化や人口減少が進む中、将来に向けた西和医療センターのあり方について検討していく必要があります。

令和元年度は、県と県立病院機構が連携した「あり方検討委員会」を設置し、西和地域の医療需給分析、西和医療センターに求められる機能や施設規模の検討を行っています。

もっと良くするために

- ・ 西和医療センターの現地での再整備は、病院機能が停止したり大幅な制限が必要になるため、移転も視野に入れた検討を進めます。
- ・ 引き続き、西和医療センターに求められる機能や規模の検討を行うとともに、外部機関との役割分担等について調整を進めていきます。

目指す姿

令和5年度までに新西和医療センター基本構想・基本計画を策定します。

新西和医療センターの機能や施設規模を検討するにあたって、どうして西和地域等の医療需給分析が必要なの？



現在の西和医療センター

20年先、30年先の西和地域等にどのような医療ニーズが見込まれるかを詳細に分析し、その結果を新西和医療センターの機能等に反映することで、将来にわたって地域が必要とする医療を提供することを目指しているよ！



主な取組

取組	令和2年度	令和3年度	令和4年度
西和医療センターのあり方を検討	県と県立病院機構が連携して必要となる機能の基本方針・施設整備方針の検討・決定		基本構想の策定
西和医療センターと総合医療センター・総合リハビリテーションセンター・他の医療機関との連携・役割分担の推進	連携・役割分担に向けた協議・調整		